

●会誌 40号編集完了 いよいよ印刷製本へ 170頁を超える

40号の目玉は第20回里山講演会の報告です。国立研究開発法人森林総合研究所関西支所森林環境グループ 小南裕志氏による「地球温暖化における森林の役割-山城の里山のCO₂吸収-」の解説は、これまで耳にしてきた地球温暖化問題と森林との関係についてわかりやすく解説いただきました。特にご多忙な小南先生にご無理を申し上げて講演会報告書をお願いいたしました。快く引き受けていただき書き上げていただきました。全会員がぜひ一度はお読みいただきたい必読の書であります。全国に6か所しかないCO₂の測定所の専門家であります。続いて「木津川の河床環境の現状と改善対策」を京都大学准教授の竹門康弘先生から講演原稿を頂戴いたしました。竹蛇籠の設置運動とその後の生物への影響の調査、河床低下問題などを正確に理解するうえでの基本を解いていただきました。この2本の講演会報告は里山の会員にとっては大変貴重で日頃の活動においても関連のある講演報告です。結成20周年にとっても会誌40号という節目にふさわしいお話が文章になって皆さんにお届けすることが実現したのです。ご多忙の中里山の会への熱い思いがあつてこそだと思います。両先生有難うございました。

●第22回通常総会会員44名 出席予定24名 委任状提出20名になるか

23日に開催する第22回通常総会への社員各位から20名の委任状提出という状況になっています。里山の会の定款に基づく最高の決議機関への出席が義務付けられている年一回の重要な会議が半数に近い委任状出席という事態は嘆かわしいことでもあります。止むを得ない事情とはいえ深刻な状況です。

●新木津川所長堂下さんとの話し合い 14日 深田、播川、伊藤、山村が出席

4月に着任された新所長「堂下—どうした」さんと、里山の会について大きなご協力を頂き、いい川づくりに協調できればと前任者の交代時期から顔合せを行ってきました。特に治水と防災には強い理解がされていますが、環境という面から木津川を見ることはほとんどなかったと思われますので、「里山の会」がどういう団体で何を目的にして活動を行って、その成果はどうしたものなのか、そして現在の課題は何か、何を望んでいるのか、何を木津川出張所に期待し、要求しているのかについて話し合ってきました。出席は深田理事長、播川副理事長、植物関係の責任者伊藤千恵子さんと山村が出席しました。

●里山農園の運営について 現在耕耘機が故障し修復絶望、トラクターが修理不能です

また軽トラックのエンジン不調で修理費15万円が必要ですが、運行不能事態と重大事態発生、事故連発となって里山の会の農業関係の機械力壊滅と言ってもいい状況に直面しています。この事態解決には100万円強の資金が必要です。そのような莫大な資金はどこを見てもありません。加えて最高時期の会員数250名が現在は200名を下回る状況で、自主財源も右肩下がりという状況です。従って財政状況は、かなり苦しくなっています。これまで順調に資器材を準備出来ました。それらの使用期限・減価償却的には0という時期に至っています。深く考えると財政面からは最大のピンチに立っているのです。この危機的状況を乗り越えられるのは全会員の、会員増やしと寄付金増やし、そして参加費の増加、出版物生産物の販売増加などへの協力です。結成20年になると順風満帆という時期は昔のことで、こうした困難を乗り越えるのが楽しいと希望を持って前進する力を発揮しましょう。

●国土交通省近畿地方整備局の業務研究発表会に「竹蛇籠の取組」で発表が決定

6月27・28日(月・火) グループレンジャーの北野大輔君を発表者に決める。昨年は小林君で推奨賞を受賞しました。

●9月3・4日「第16回川に学ぶ体験活動 in 淀川流域圏」の開催準備が進む

18日第4回実行委員会開かれると決まりました。

●NHK・TVで18日に近畿版として春の野草を味わう会が春の訪れとして放映された

地域のアマチュアカメラマンとして有名な宇治の角さんが来られて「春の野草を味わう会」の撮影をされていました。これまでも七草など四季折々のイベントを投稿されてきました。今回も採択され、大阪から関西一円に放映されました。NHKテレビのニュースホット関西のホームページのところを開けばパソコンでも見られます。ご覧になってください。

●竹蛇籠の生物調査実施

参加者募集 4月23日(土)午前9時30分現地集合 左岸飯岡浜 胴長靴と昼弁当持参 滋賀県立大学院生・北野大輔君(河川レンジャー)が主催 小林君や橋口君と同志社大学生数人が支援の予定です。時間があればぜひお越しください。

●4月29日夏野菜の植え付け作業を予定 里山農園に集合ください 飲み水弁当持参

里山農園ではゴールデンウィークの初日に夏野菜の植え付けを行います。春の訪れと共に、いよいよ4月後半から生き物が成長する時期に突入し、自然が元気あふれる時、農業にとっては一年に一番大切な期間です。あなたの手で植え付けを行って成長を楽しみにしてみませんか。お越しをお待ちしています。初心者大歓迎です

●5月3日 春のハイキング 山科駅集合 日本新薬植物園を訪問

年に2回の恒例のハイキングを山科の日本新薬の植物園を訪ねてはと提案がありました。長年の伝統があるといわれて、数々の植物が生育していて、結構いい学習になるといわれている施設です。「ご期待ください。詳細は次号で案内いたします。

●県外研修会 5月19・20日を目当てに具体的な準備に入る

前号で少しお知らせいたしましたが、具体的に進めてみることになりました。ご期待ください。一泊二日か日帰りかを検討中です。

●会計監査 4月21日

2015年度決算額 902万円 繰越金額 23万円となりました。武田・村田両氏が帳簿及び現金預金通帳を確認され、承認いただきました。通常総会に報告提案して承認を頂きます。